

快適なモビリティサービスの提供

ヒトやモノを快適に運び、日々のくらしや社会を豊かにするため、お客さまのニーズにきめ細かに対応した質の高いサービスを提供します。

パーキングエリアの改善・充実

すべてのお客さまが気軽に立ち寄り、ほっとしていただける空間「ほっと処(しょ)」を提供するため、トイレをはじめとした施設改修、デジタルサイネージを通じた沿線地域の情報発信強化および一部の無人パーキングエリアでのオペレーターによる遠隔問い合わせ対応など、施設の充実とスタッフによるおもてなしの質の向上に取り組んでいます。また、レストラン・売店においては、定番から季節限定や地域の特徴を活かしたものなど、幅広いメニューや商品を提供しています。さらに快適なドライブライフを実現するため、本線料金所撤去跡地を活用してパーキングエリアを整備しました。(2015年度末：14箇所⇒2024年度末：18箇所)

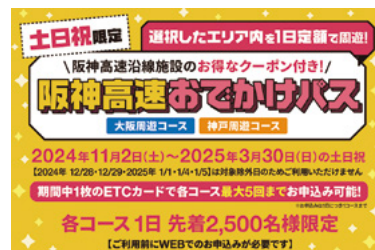


泉大津PA(陸側)

利用促進を通じた地域活性化

阪神高速おでかけパス

関西都市圏の活性化と、休日の阪神高速道路の利用促進を図ることを目的に、選択した阪神高速道路のエリアが定額で1日周遊できる土日祝限定「阪神高速おでかけパス」を販売しました。2024年度は、沿線施設で利用可能な「共通クーポン」対象施設について、沿線自治体との連携により施設数を増加させるとともに、「大阪楽遊パス」「KOBE観光スマートパスポート」とのセットプランも新発売し、さらにお得に阪神高速道路をご利用いただけるようになりました。今後もより多くのお客さまにご利用いただけるよう、さらなるお客さまサービスの向上に努めていきます。



阪神高速おでかけパス

阪神高速ドライブチャンネル「どらちゃん」

阪神高速ドライブチャンネル「どらちゃん」は、沿線地域活性化と阪神高速道路の利用促進を目的に、お客さまが興味を持って沿線施設へ足を運んでいただけるようなお出かけ情報を毎月YouTubeなどで配信しています。



【コスパ×体験】関西おでかけスポット

ETC専用化によるキャッシュレス化・タッチレス化

近年のETC利用率拡大などの社会情勢の変化を踏まえ、ETC専用化を推進しています。

阪神高速道路では、2024年度までに38箇所の料金所で運用を開始しました。今後順次拡大し、2030年度頃までに全料金所をETC専用化すべく進めていきます。



淀川左岸舞洲料金所